

令和4年7月4日～7月10日までの全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況 及び熱中症による救急搬送人員数と暑さ指数(WBGT)の関係について (令和4年度第10報)

1. 全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況について

7月4日～7月10日の6都市(注1)の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値は、5日以降は常に「**嚴重警戒**」を示す28以上31未満になりました。

6都市の10年間平均値と比較すると、常に1から3程度高くなりました(図1、表1参照)。

11都市(注2)では、札幌では「**警戒**」を示す25以上28未満に、仙台、新潟、東京、大阪、広島では「**嚴重警戒**」に、名古屋、高知、福岡、鹿児島、那覇では「**危険**」を示す31以上になる日がありました(表1、表2参照)。全国を見ると、北海道地方以南で28以上、東海地方以南では31以上となる日がありました。

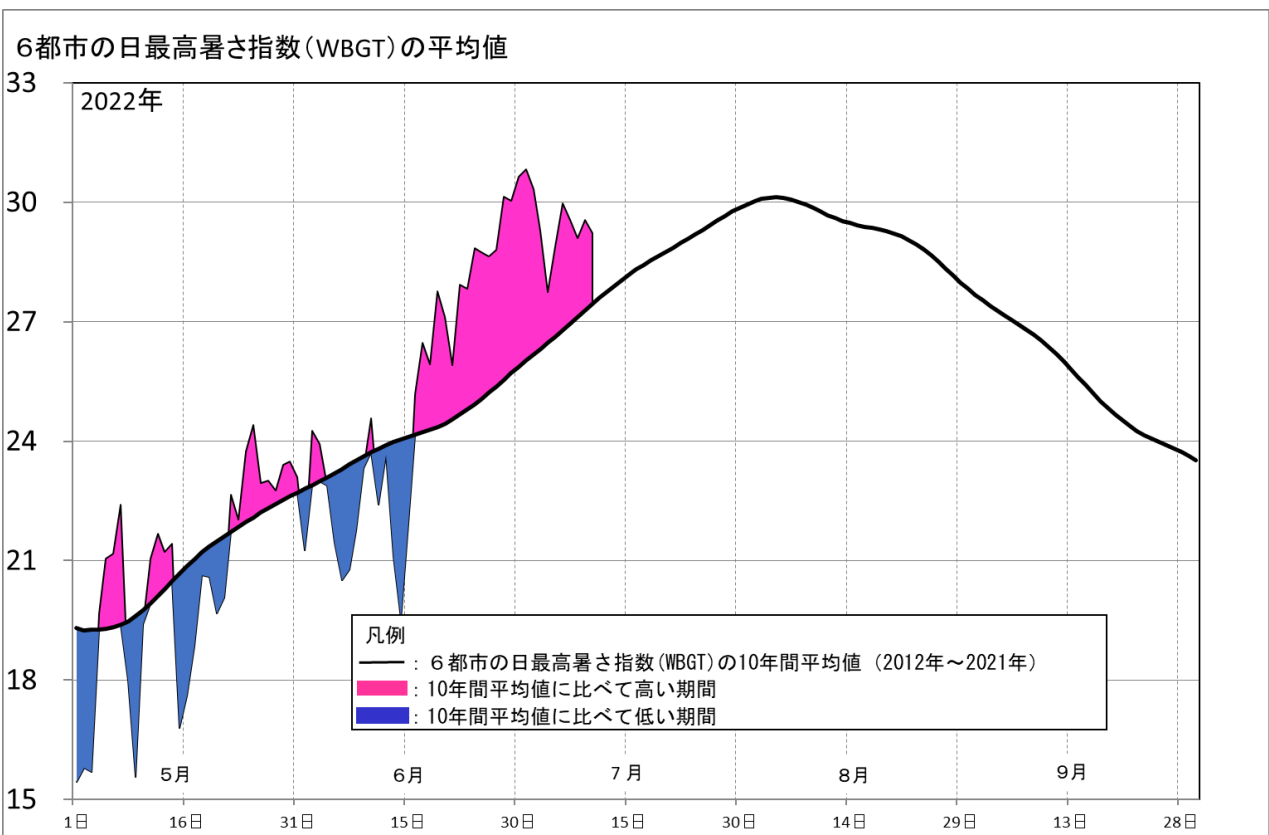


図1 全国の暑さ指数(WBGT)の動向と過去10年間平均値との比較

表1 全国11都市(注2)の日最高暑さ指数(WBGT)(7月4日～7月10日)(注3)

日	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇	6都市平均
4	27.5	29.4	28.8	27.9	26.5	26.4	26.4	26.9	30.4	28.4	31.5	27.7
5	26.4	28.8	30.0	30.2	28.2	29.1	27.2	27.7	28.6	29.8	30.8	28.9
6	27.4	23.1	29.0	28.3	31.5	30.5	29.1	32.2	31.5	29.5	30.7	30.0
7	27.1	24.7	28.4	28.0	31.2	30.0	27.8	30.8	32.0	31.5	30.6	29.6
8	25.4	26.3	28.5	28.3	30.7	28.5	28.6	27.4	30.0	30.6	30.8	29.1
9	25.8	25.9	27.5	29.0	30.6	30.2	29.6	30.6	30.4	31.5	31.5	29.6
10	27.3	28.2	28.1	30.6	26.8	29.8	29.0	30.7	31.1	30.2	31.8	29.2

注1 6都市：東京都、大阪市、名古屋市、新潟市、広島市、福岡市

注2 11都市：札幌市、仙台市、新潟市、東京都、名古屋市、大阪市、広島市、高知市、福岡市、鹿児島市、那覇市

注3 表1、表2の値は速報値であり、年度末に発表される確定値とは異なる場合があります。

表2 全国11都市の7月4日～7月10日の暑さ指数(WBGT)超過時間数(注3)

超過時間数	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇
31以上	0	0	0	0	3	0	0	3	6	6	12
28以上	0	10	22	14	25	27	11	29	48	47	79
25以上	43	32	91	65	70	103	85	95	149	147	168

ほぼ安全	注意	警戒	厳重警戒	危険
21未満	21以上25未満	25以上28未満	28以上31未満	31以上

2. 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)と熱中症による救急搬送人員数(全国)との関係

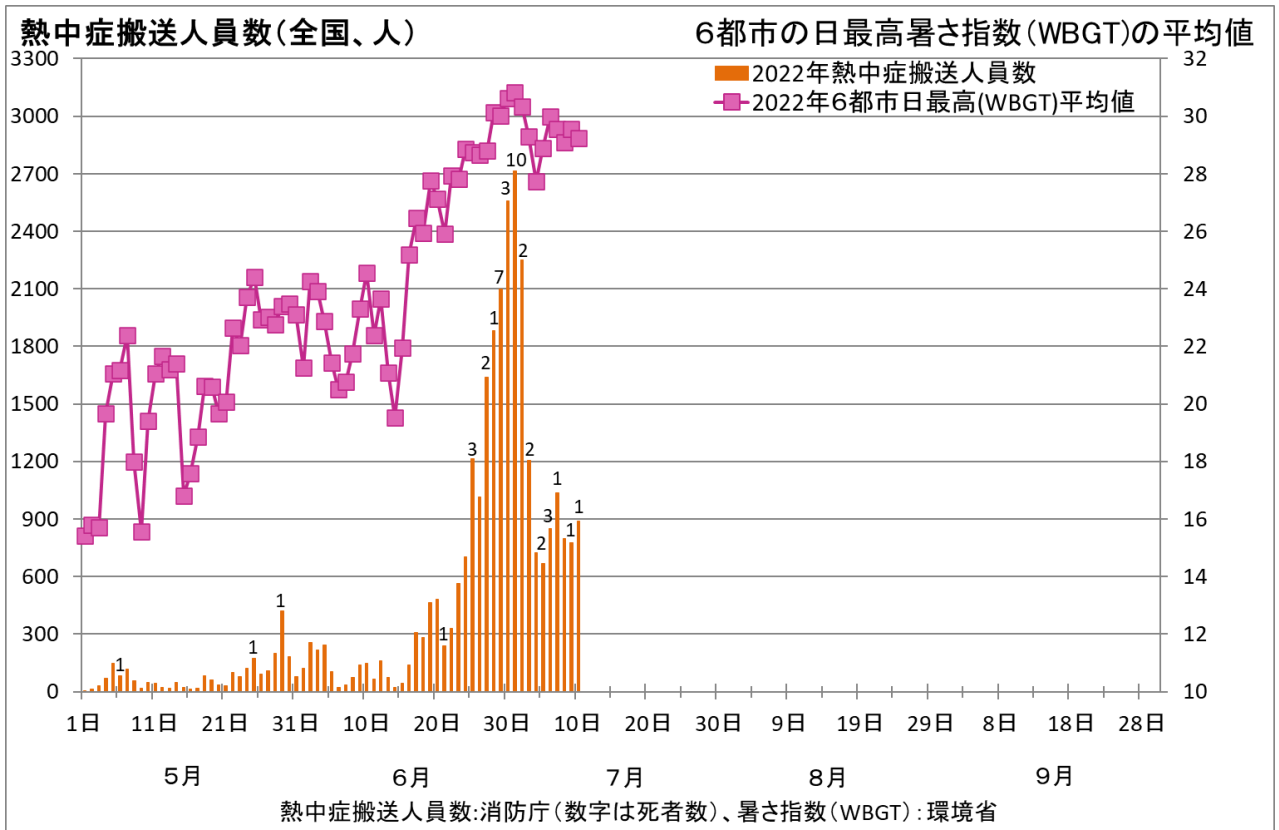


図2 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値と熱中症搬送人員数の推移

7月4日から7月10日までの6都市(注1)の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値は、5日以降は常に「厳重警戒」を示す28以上31未満になりました(表1、図1)。

消防庁発表の速報によると、熱中症による救急搬送人員数は、7月7日の1,038人が最高で、この期間の総数は5,744人(死者8名含む)となりました(図2)。

3. 全国の熱中症警戒アラートの発表状況

7月4日から7月10日までの熱中症警戒アラート発表状況は、以下のようになっております（表3）。

表3 全国の熱中症警戒アラート発表状況（7月4日から7月10日）

地方 ^{※1}	北海道	東北	関東甲信	東海	北陸	近畿
域内平均 ^{※2}	0	0	0	0.8	0.8	0.2
のべ回数	0	0	0	3	3	1
地方 ^{※1}	中国	四国	九州北部 ^{※3}	九州南部・奄美		沖縄
域内平均 ^{※2}	0	0.5	2	2		1.3
のべ回数	0	2	12	6		5

※1：気象庁の地方予報区単位（別図参照）

※2：「地方内府県予報区の1週間ののべ発表回数」÷「地方内府県予報区数」

回数は前日17時、当日5時どちらかの発表で1回とカウント

※3：九州北部には山口県も含まれる

4. 今後の見通しと注意点

7月15日までは、北海道以南で「厳重警戒」を示す28以上、東海地方以南では「危険」を示す31以上になる地点がある見込みです。

気象庁の週間天気予報（7月13日発表、予報期間：7月14日～7月20日）によると、「最高気温と最低気温はともに、平年並みか平年より高い所が多い見込みです。」となっております^{※4}。

※4：全国の地方週間予報から気温予報の概要を編集。詳しくは気象庁ホームページの最新情報を参照願います。

○猛烈な暑さが続き、夜間も気温が下がらない日が多くなっております。日中はもちろん、夜間就寝中の熱中症にも十分お気を付け下さい。特に体調の変化に気付きにくい高齢者や子どもさんには、積極的な声かけをお願いいたします。

